

産地直結や手作り

自宅を開放して自然食品店
を開設した宮下さん夫妻



を原点に：

「農に帰る」

本当の30周年目を迎えて

1983年12月7日(水)、
まほろばが5号線・発寒橋の
たいてい 袂のアパートの一室で産声を上
げました。

今月の「歳末大売出し」で
実質丸30年を迎えることになり
ます。

一口に30年といっても、長いような短いような、もっと何とか出来なかったものだろうかと、努力不足を反省することしきり。一方、飽き性の私が、「でもよく続いたなー」と、いう感慨もあります。

「アパートが店先」という話題になり、読売新聞社から取材を受けました。昼の間に、安物の本棚を組み立て、所狭しと商品を並べて売っていたのです。今にすれば、ちよつと考えられないことです。どうやって、お客さまは、出入りされたのだろうか。

お金も免許もないから、仕入れ・配達も自転車でした。恥ずかしいとか、辛いとかはありません。

[illegible]

せんでした。無いことの強さと言
うのでしょうか。

正式には、84年の6月に西野6
条2丁目に移って、晴れて一軒家
の店を構えました。それで、来年
7月には、「**30周年・大創業祭**」
を開かせて戴く予定です。

当時の資料を見ますと、その年の9月26日発行の便りに、家内が「**本ものの自然食品を食べて、本ものの生き方をしましょう**」というタイトルで一文を載せています。

アパートで、「自然食研究会へのご案内」と銘打って会員を募っています。

また「ホームパ
ティのお誘い」とし
て、無料で食生活相談
をしています。

そして、「**自然食料**
理講習会」＝天然酵母
を使ったパンケーキ
第1回＝として、自宅
講習のほか、家庭出張
も試みています。

最後に『**自然食品の
ご案内**』として、ヤマ
ヒサ醤油や弥栄^{やさか}みそな
ども紹介しています。

いろいろな試みを当
時からしていたんです
ね。その頃のお客様は、

本物の自然食品を食べて 本物の生き方をしましょう。

558・8・26発行

ホームパーティへのお誘い

— あなにも、お母さんや、近所の方、病院の方など誘い合わせて、こんなホームパーティを開いてみませんか。 —

- 専門の自然食コンサルタントが、無料で健康相談、食生活相談します。
- 自分の体質に合った安全な食品の選び方講習致します。
- いざという時の家庭の食生活講習致します。
- 自然食品の取扱を教えます。
- 3ヶ月にわたるお付き合い。

自然食料理講習会

— 天然酵母を使、にパンケーキ — 第1回 —

東京圏の若い天然酵母を使、にパン作り等、各地で講習会が開かれています。なかなか手配がつかず、家庭で自然食に作るのにはちょっと難しい様です。そこで工夫したのが、超簡単手軽に作れるパンケーキ。しかも一度食べたらやめられなくなり美味しいです。

自然食研究会へのご案内

日時、場所 毎週土曜日午後1時～4時、宮下町会にて
参加費 自然食を勉強がらや、てみようという意気込みある方
入会費500円、会費100円
申し込み 電話で午後5時～11時までは、午前5時～10時までは申し込み下さい。

札幌市西区手稲東1北2丁目6-5 マン
ツ。ン林2F A号 (TEL 665-6624)
宮下

自然食品のご紹介(一部)

(一品でも配達致します。)

春雨 (500g=¥570) コシがあって、安くおいしい中国産本場の
練成春雨です。これに中国産の中でも最高品質の鶏肉の春雨の
中からさらに特上品を選びました。(ゴキウ・日神・ロイヤル・良
家の麦白蜀黍等が少量に含まれています。意外にまだ知られていない健康
効果があります。肝臓、心臓病、可成り血糖降、高血圧など、予世
議とよく知られます。

→ ウラヘ

きつと懐かしく思われるに違いありません。それにしても30年ものお付き合いになるのですね。

当時から、家内のまほろば食養思想の曙といった黎明期を思わせます。お互いに、必死で生き抜こうとしていました。

右の記事は、その年の11月現在の「商品価格表」です。数えると100品目ほどありました。

基本構成は当時から変わっていませんね。こう書いています。

「食べ物で運命は変えられる。幸福は正しい自然の食品から」と。|| 精選吟味した純正自然食品を、あなたの御家庭に電話一本でお届け致します。||

本当に電話一本で、自転車で白石や真駒内まで雪の中、届けていました。本では「ガンを食べ物で治す法」森下敬一著がありました。当時から、会長とはご縁があったのですね。

半年ほどの準備期間を経て、年末の7日(水)から11日(日)まで「開店セール」をしたようです。

手書きで原稿を書き、初めて印刷屋さん頼み、新聞折込みチラシを入れたんですね。「全商品1/2割引セール」と出ています。

そのチラシに、「西区に初めての『自然食品・家庭店舗相談所』」として『☆健康手作り運動 ☆心の手渡し交流』とのメッセージ。

「まほろば家族」入会のお勧め・・・があつて、特典割引制度までありました。

記念すべき「まほろばだより」創刊号に、私の『まほろば』開店によせての一文がありました。

「...真のまほろばなる大和は地を示すのではなく、私達自身を言う。」「相変わらず、硬い文章で、どうしようありません。何か気宇壮大な感じで、とてもアパートの一室から声を上げている感じがしません。

ちよつと驚くのは、30年前の当時から「生体エネルギー講座」として店の姿勢を訴えている点です。生命エネルギーの高いものを指標として、店作り・商品構成としています。

そして、大変重要なことが見つかりました。思い出しました。

すでに、その時、農業を始めていたんですね。実家のある恵庭です。戸磯の有名な福屋牧場の近くの防風林地帯の一角でした。そこは、親父の土地で、小川のせせら



ぎの元、かぼちゃや何かを植えていました。そして、ビックリなんです。温泉水が出たんです。それが、あのキリマンジェロの温泉になったのです。それから農園が、輪厚になり、今の小別沢になりました。

自然食品を始めた目的は、「農業をしたい！」という志からでした。農業が主で、商売はサブのはずでした。今は、逆転しています。やはり、『農』はまほろぼの根幹であり、出発点であり、生命線であるという事に変わりがありません。

創業30年、とネットでたまたま引くと、会社の存続率というデータが載っていました。それを観てびっくり！株式会社は30年で、その99・98%が消えるらしいのです。つまり、100の会社が生まれても、30年後には、ほぼ1社も残っていない

2013年・平成25年12月6日
(株)まほろば 代表
宮下 周平

これからの30年も、変わりなく、ぶれることなく、中身のある「小国寡民」の実現に向けて、スタッフ一同肩を寄せ合いながら、地道に精進して行きたいと思っています。そして今日までを支えて下さった、お導き下さったお客様に、深く感謝の意を表したいと思います。ありがとうございます。

そして、これからもなお末永くお付き合い下さいますよう、お願い申し上げます。